

平成21年度委託業務成果報告書

広島大学 アクセシビリティセンター

1. 事業名

文部科学省：障害学生受入促進研究委託事業

「中等教育と高等教育を滑らかにつなぐ、最適な評価方法とユニバーサルな教育・情報支援の研究」

2. 事業の実施体制

【委託者】 独立行政法人 日本学生支援機構

【研究実施者】 広島大学アクセシビリティセンター

- 佐野（藤田）真理子（アクセシビリティセンター長・教授）
- 山本 幹雄（アクセシビリティセンター・准教授）
- 岡田 菜穂子（アクセシビリティセンター・特任助教）

【研究協力者】

- 広島大学入学センター
- 広島大学エクステンションセンター
- 広島大学キャリアセンター
- 広島大学保健管理センター
- 広島南特別支援学校
- 広島中央特別支援学校
- 鈴峯女子高校
- 広島山陽学園・山陽高校
- 広島市立阿戸中学校
- 広島市立安佐南中学校
- 広島市立国泰寺中学校
- 広島市立五日市中学校
- 東広島市障害者相談支援センター「はあとふる」

3. 事業の趣旨

近年、障害ある学生（以下、障害学生）の大学進学の際の機運が高まっているが、実際に大学に在籍する障害学生の比率は極めて少ない。現在の比率がどの程度、低いものなのかは、詳細な分析の必要があるが、大学進学に際して様々なバイアスがかかってくることは否めない。その一因として「知る」機会の少なさが挙げられる。本学に進学してくる学生も、情報支援や教育支援の方法を知らずに入学してくるケースが少なくない。このことは、中等教育において障害やアクセシビリティ、ユニバーサルデザインに関する意識や知識のある人材が極めて少ないことを示している。障害学生本人がこのような知識を得ることも大切であるが、中等教育、高等教育双方で、障害学生が在籍しない状況でも、取組が継承される土壌づくりが肝要である。本事業では、特別支援学校および県教委等中等教育機関と本学の間で学生・教職員の人材交流・情報交換を行い、「知る」システムの構築を図り、中等教育と高等教育を滑らかにつなぐ、継続性ある最適な評価方法とユニバーサルな教育・情報支援の研究を行う。

4. 平成 21 年度事業実績

① 中等教育への学生学習補助者の派遣と情報交換

（１）広島南特別支援学校への派遣

広島南特別支援学校における学習補助者として派遣した、本学独自の資格「アクセシビリティリーダー」資格取得者（以下、アクセシビリティリーダーとする）3名に対して、ヒアリング調査を行い、聴覚に障害のある学生に対する学習補助の課題を整理した。

（２）広島市立阿戸中学校への派遣

広島市立阿戸中学校における学習補助者として、アクセシビリティリーダー8名を派遣し、中等教育のユニバーサルデザイン化および高等教育への接続の課題などを T2、T3 の視点から整理した。

（３）障害のある小中学生の実態調査

東広島市障害者相談支援センター「はあとふる」と連携し、東広島市障害児余暇活動支援事業に対して、アクセシビリティリーダー4名を派遣した。発達障害児等の余暇活動支援事業に対して、大学からアクセシビリティリーダーを派遣する上での課題や派遣による効果などを、派遣学生に対するヒアリング等を行い整理した。

② アクセシビリティセミナー開催と人材交流・情報交換

(1) 第3回 高大連携研究会

次の「中等教育と高等教育を滑らかにつなぐ、最適な評価方法とユニバーサルな教育・情報支援に関する研究会」を開催し、地域レベルの連携を目的として、中等教育・高等教育機関の双方における修学支援の現状と進学促進のための課題と意見交換を行った。

【日時】：平成21年5月23日（土）14時～16時

【場所】：広島大学 総合科学部第1会議室

【参加】：広島大学5名（アクセシビリティセンター4名、入学センター1名）
鈴峯女子高校1名、広島山陽学園・山陽高校1名、広島中央特別支援
学校1名、阿戸中学校1名、安佐南中学校1名 計10名

【プログラム】：

- ① 第2回研究会報告
- ② 情報ネットワーク構築について
- ③ アクセシビリティリーダー(AL)の派遣について
- ④ 今後の研究会の予定
- ⑤ その他・意見交換

【成果】：情報ネットワーク構築に関するコンテンツの具体的な内容について、意見交換が行われた。また、アクセシビリティセンターから8月に開催される予定の「合同進学説明会」のプログラム案が紹介され、具体的な内容について意見交換が行われた。アクセシビリティリーダーの派遣について、アクセシビリティセンターから現在の活動、新事業について報告がなされた。

(2) アクセシビリティセミナー（第4回 高大連携研究会）

「受験から就職までを滑らかにつなぐ障害学生支援」をテーマに、公開セミナーを開催した。概要は次のようなものである。なお詳細については、報告書（別添付）をまとめ300部製本し、関連機関に配布した。内容等詳細については「別添付報告書」を参照されたい。

【日時】：平成21年8月30日（日）14時～16時30分

【場所】：広島大学 総合科学研究科 談話室

【参加】：55名（広島大学教職員・学生、（広島大学以外の）大学教職員、中学・高校教職員、保護者）

【講演タイトル】：

「障害学生修学支援ネットワーク相談事業と、障害学生支援の現状について」
「障害学生支援の入学前指導から入学後の修学支援について
—山口大学の事例を中心に—」

「大学における修学支援の方法」

(3) 第5回 高大連携研究会

【日時】：平成 21 年 12 月 27 日（日）14 時～16 時 30 分

【場所】：広島大学 総合科学部第 3 会議室

【参加】：広島大学 5 名（アクセシビリティセンター 4 名、入学センター 1 名）、
鈴峯女子高等学校 1 名、阿戸中学校 2 名、広島市立国泰寺中学校 1 名、
広島市立段原中学校 1 名 計 10 名

【プログラム】：

- ① アクセシビリティセミナー反省会
- ② 授業のユニバーサルデザイン化の取組：事例研究の紹介
- ③ 情報ネットワーク・Web コンテンツの具体的な内容について
- ④ 今後の研究会の予定
- ⑤ その他・意見交換

【成果】：8 月 30 日に開催された「障害ある中高生のための大学進学セミナー」
の反省と次回開催に向けての意見交換が行われた。アクセシビリティ
センターから情報ネットワーク「UENET」が紹介され、より具体的
な内容について意見交換が行われた。阿戸中学校から授業のユニバー
サルデザイン化の取組「学生ボランティア活用」として、事例研究が
紹介された。

③ 選抜方法の多様化と最適な評価方法の課題分析

AO 入試における、パソコン受験、字幕による情報保障など、本学における入試
の特別措置事例を整理した。

④ ユニバーサルな教育支援・情報支援に関する情報サイトの開設

CMS を導入し、
情報交換サイ
トの立ち上げ
を行うととも
に、初等・中等
・高等教育、社
会への接続に
有益なコンテ
ンツや情報交
換システムに
ついて、②の研
究会等を通じ

て整理した。同サイトは、②の研究会の成果を踏まえて内容を拡充し、平成 22 年度
より一般運用につなげる予定である。



5. 事業期間

平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

6. 別添付報告書

「平成 21 年度 広島大学 アクセシビリティ・セミナー報告書」